

秘 書 課

○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献したもの、広く市民の模範となる行為をしたものを表彰し、市民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会の実現に寄与するため、11月1日に伊勢市表彰条例に基づく第3回の表彰を次のとおり行った。

1 伊勢市民功労賞

- ・ 多年地区自治会長として地域住民の福祉の増進、地域の活性化に寄与された（2名）
- ・ 多年美術展覧会運営委員として伊勢市の美術の振興と美術展覧会の改革に尽力された（1名）
- ・ 多年学校歯科医として児童生徒の口腔衛生管理に尽力された（1名）
- ・ 多年学校薬剤師として児童生徒の安全衛生管理に尽力された（1名）
- ・ 多年学校医として児童生徒の健康管理に尽力された（1名）
- ・ 多年農業委員として地域農業の振興・発展および農業経営の向上に寄与された（1名）
- ・ 多年保護司として更生保護活動の向上に寄与された（2名）
- ・ 多年消防団活動に献身的に尽力された（1名）
- ・ 社会福祉のため多額の御寄附をされた（1名）
- ・ 地域振興のため多額の御寄附をされた（2名）
- ・ 多年伊勢市明るい選挙推進協議会委員として選挙の適正かつ円滑な管理執行に貢献された（1名）

2 伊勢市民スポーツ賞

- ・ サッカー日本代表として優秀な成績を収められた（1名）
- ・ 全国高等学校選手権大会陸上 400メートルリレーで優秀な成績を収められた（4名）
- ・ 全日本大学駅伝大会において優秀な成績を収められた（1名）

○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・ 旭日小綬章 元市議会議員 （地方自治功労）
- ・ 旭日双光章 元村議会議員 （地方自治功労）
- ・ 旭日双光章 元市議会議員 （地方自治功労）
- ・ 従六位 元市議会議員 （地方自治功労）

○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の伸展と興隆繁栄に寄与するため、次のとおり市長会が開催された。

1 全国市長会

開催年月日	会議名(主な議題)	開催地
20. 6. 4	第78回全国市長会議通常総会 ①平成18年度全国市長会決算報告について ②平成20年度全国市長会予算承認について ③各支部提出議案審議経過及び結果報告について ④役員改選	東京都千代田区

2 東海市長会

開催年月日	会議名(主な議題)	開催地
20. 5. 23	第106回東海市長会通常総会 ①平成19年度東海市長会会務報告について ②平成19年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③平成20年度東海市長会歳入歳出予算について ④役員改選	愛知県瀬戸市
20. 10. 17	第107回東海市長会臨時総会 ①全国市長会会務報告 ②各県市長提出の議案審議について	三重県鳥羽市

3 三重県市長会

開催年月日	会議名(主な議題)	開催地
20. 4. 22	三重県市長会4月定例会議 ①平成20年度三重県市長会役員選任について ②県政要望に対する回答について	津市
20. 7. 25	三重県市長会7月定例会議 ①平成19年度三重県市長会歳入歳出決算について ②平成19年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について	津市
20. 11. 10	三重県市長会11月定例会議 ①平成21年度三重県市長会分担金について ②平成21年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会分担金について ③三重県市町村職員共済組合役員について	津市
21. 2. 20	三重県市長会2月定例会議 ①平成21年度三重県市長会歳入歳出予算について ②平成21年度軽自動車税等事務共同処理協議会の歳入歳出予算について	津市

○ 名士来勢者

次のとおり名士の来勢があった。

年 月 日	来 勢 者	用 件
20. 5. 27 28	第60代(2008年) 全米さくらの女王 エミリー・リトルほか一行	表 敬 訪 問 神 宮 参 拝
20. 11. 13	皇 太 子 殿 下	第 1 1 回 全 国 農 業 担 手 サ ミ ッ ト i n み え 神 宮 参 拝
21. 1. 4	内 閣 総 理 大 臣 麻 生 太 郎 農 林 水 産 大 臣 石 破 茂 内 閣 府 特 命 担 当 大 臣 甘 利 明	神 宮 参 拝

総 務 課

○ 議会関係

1 市議会の招集及び議案提出状況

市議会は4回（定例会4回）開催され、その提出案件中（議会提出案件は除く。）141件が、可決、承認、認定又は同意された。

招 集 年 月 日	会 期	区 分	議 案 提 出 件 数 (報告を含む。)
20. 6. 25	15 日間	定 例 会	27 件
20. 9. 10	24	定 例 会	20
20. 12. 3	16	定 例 会	32
21. 2. 25	23	定 例 会	62
計	78	4 回	141

2 岡本町財産区議会の招集及び議案提出件数

地方自治法第294条に規定する特別地方公共団体である岡本町財産区の財産に関する事務を処理するため、岡本町財産区議会が開催され、その提出案件は、すべて可決又は承認された。

(1) 招集及び議案提出件数（議案）

- ・招集年月日 平成20年6月11日
議案提出件数 1件（平成19年度決算）
- ・招集年月日 平成21年3月24日
議案提出件数 2件（平成21年度予算、平成20年度補正予算第1号）

○ 文書法制関係

1 条例、規則及び訓令の制定及び改廃並びに公布

(1) 法令の制定及び改正等に伴い、関係する伊勢市の条例、規則及び訓令の制定、改正及び廃止を行い、伊勢市公告式条例の規定により、条例45本及び規則43本を公布し、並びに訓令10本を公表した。

(2) 条例、規則及び訓令の制定及び改廃の本数の内訳

（括弧書きは、一括改正、附則等で改正を行った条例等の本数を含んだ数）

	新規制定	改正（全部改正を含む。）	廃 止	計
条 例	9 本	36 (48) 本	0 (3) 本	45 (51) 本
規 則	2	41 (63)	0 (1)	43 (64)
訓 令	1	9 (12)	0	10 (12)
合 計	12	86 (123)	0 (4)	98 (127)

2 要綱の審査

制度の開始及び改正等に伴い、関係する事務を適切に処理するため、要綱の制定、改正及び廃止を行うにつき、その審査を行った。

3 公示

法令の規定等に基づき各種事項を公示し、広く一般に周知した。

- (1) 告示件数 72 件（市議会の招集、道路の供用開始ほか）
- (2) 公告件数 92 件（犬の抑留、農用地利用集積計画の作成ほか）

4 市公報の発行

伊勢市公報発行規程に基づき、毎月 5 日と 20 日の 2 回伊勢市公報をインターネット上の伊勢市のホームページで公開するとともに、インターネットでの閲覧ができない方用として、総務課、市民ホール、図書館、各支所及び各総合支所にパソコンから印刷した伊勢市公報を備え置いた。

定 期 24 回（第 58 号～第 81 号）

○ 情報公開関係

1 伊勢市情報公開制度の実施状況

(1) 公文書公開請求の状況

平成 20 年度における公文書公開請求件数は、104 件（総合支所分含む。）であった。

なお、実施機関別状況は以下のとおりであった。（複数の実施機関への請求があった。）

実施機関名		件数	実施機関名	件数
市 長	秘書課	1件	教育委員会	25件
	総務課	1	議会	2
	広報公聴課	4	消防長	1
	管財契約課	1		
	危機管理課	1		
	課税課	1		
	交通政策課	18		
	戸籍住民課	4		
	農林課	4		
	水産課	1		
	監理課	1		
	都市計画課	6		
	基盤整備課	5		
	維持課	21		
	用地課	1		
	上下水道総務課	4		
	(小俣総合支所)生活環境課	2		
計 (17課)	76	計	28	
合 計				104

(2) 公文書公開請求の決定状況

なお、1件の請求に対して複数の決定のものがあった。

区 分	公 開	部分公開	非公開	請求却下	計
件 数	37件	57件	3件	12件	109件

(3) 不服申立ての状況

公文書の公開請求に対し実施機関が行う諾否の決定に対し、不服申立てができるようになっており、平成20年度の不服申立ては1件であった。

(4) 情報公開審査会（委員5名）

- ・開催日 平成20年6月12日（第1回）
- ・会議内容 実施状況（平成19年度）の報告について
- ・開催日 平成20年10月10日（第2回）
- ・会議内容 情報公開審査諮問書の審議
- ・開催日 平成20年10月24日（第3回）
- ・会議内容 情報公開審査諮問書の審議
- ・開催日 平成20年11月14日（第4回）
- ・会議内容 情報公開審査諮問書の審議、答申

(5) 情報公開審査会の処理状況

平成20年度、審査会への諮問は1件であった。

(6) 情報公開制度に関する研修会の実施

実 施 日	対 象 者	参加人員
平成20年4月2日	新規採用職員	23人
平成20年7月31日	各保育所職員	50
平成21年2月16日	各課実務担当者及び希望者	54
計		127

2 伊勢市個人情報保護制度の実施状況

(1) 個人情報取扱事務の届出状況

平成20年度末現在における個人情報取扱事務の登録件数は、493件となり、実施機関別の登録件数は次のとおりである。

実施機関名	件 数
市 長	378件
教育委員会	67
病院事業管理者	9
選挙管理委員会	5
監査委員	2
農業委員会	4
消防長	26
議 会	2
合 計	493

(2) 個人情報開示、訂正、削除及び中止の請求等

平成 20 年度において個人情報開示請求は 10 件であった。訂正、削除及び中止の請求はなかった。

なお、実施機関別状況は以下のとおりであった。

実施機関名		件数	実施機関名	件数
市	管財契約課	1件	教育委員会	0件
	戸籍住民課	5	議会	0
	医療保険課	1	公平委員会	0
	生活支援課	1	農業委員会	0
	監理課	1	病院事業管理者	0
長			消防長	1
			選挙管理委員会	0
			監査委員	0
			固定資産評価審査委員会	0
計 (5課)		9	計	1
合 計				10

(3) 公文書開示請求の決定状況

なお、1 件の請求に対して複数の決定のものがあった。

区 分	請 求	開 示	一部開示	不開示	請求却下	計
件 数	10件	7件	1件	0件	3件	11件

(4) 目的外利用及び外部提供

平成 20 年度における目的外利用の届出は 9 件、外部提供の届出は 30 件であった。

(5) 不服申立ての状況

平成 20 年度の不服申立てはなかった。

(6) 個人情報保護審議会（委員 5 名）

ア 会議開催日 平成 20 年 6 月 12 日

イ 会議内容

- ・実施状況（平成 20 年度）の報告について
- ・個人情報目的外利用等の報告について

(7) 個人情報保護審議会の処理状況

平成 20 年度において審議会への諮問はなかった。

(8) 個人情報保護制度に関する研修会の実施

実 施 日	対 象 者	参加人員
平成 20 年 4 月 2 日	新規採用職員	23 人
平成 20 年 7 月 31 日	各保育所職員	50
平成 21 年 2 月 16 日	各課実務担当者及び希望者	54
計		127

○ 市史編さん関係

既存の伊勢市史が刊行されてから約40年が経過する中、昨今の時代の急速な変化とともに失われて行く郷土の歴史や文化を今一度振り返り、将来の伊勢のまちづくりに活かすため、新たに「伊勢市史」の編さんに取り組んでいる。

新しい市史の構成は、記述する内容を歴史部門等8つの専門分野に分け、総巻数を8巻とし、平成18年度から平成23年度までに順次刊行していく計画である。

編さん体制は、学識経験者、地域団体代表者、市職員で構成し、基本方針及び刊行計画等を定める「市史編さん委員会」と、編集に関する専門事項を調査し、企画、立案等を行う「編集専門委員会」、及び資料の調査や収集を行い各巻の編集及び刊行業務を行う「編集専門部会」が組織されている。さらに、民俗部会においては取り扱う分野が広いため、編集専門部会委員に加えて、「協力委員」を委嘱し、これらの委員により各巻の編さん作業を実施した。

平成20年度中に『第六巻 考古編』の刊行を予定していたが、原稿執筆の遅れのため、刊行を平成21年度に延期した。

また、平成19年度中に刊行予定であった『第八巻 民俗編』を明許繰越し、平成20年度中に刊行するべく業務を進めていたが、原稿集約及び編集作業の遅れのため刊行できず、平成21年度に事故繰越とした。

1 伊勢市史編さん委員会（委員11名：学識経験者5名、地域団体代表2名、市職員4名）

(1) 会議開催回数 1回（平成21年2月2日）

2 伊勢市史編集専門部会（7部会21委員）

(1) 設置した編集専門部会及び委員数

民俗部会5名、古代部会2名、中世部会2名、近世部会4名、近代部会6名、現代部会3名、考古部会は委員なし

(2) 編集専門部会の開催状況

民俗部会1回、中世部会3回、近世部会4回、近代部会4回、現代部会6回、考古部会10回。

3 伊勢市史編集専門部会協力委員（1部会6委員）

(1) 協力委員を設置した部会及び委員数

民俗部会6名

4 各専門部会が実施した調査・作業・打合せ会など

(1) 民俗部会

- ・ 補充調査（聞き取り等） 5回
- ・ 編集グループ会議 46回
- ・ 編集作業 48回

- (2) 古代部会
 - ・作業打合せ 1回
- (3) 中世部会
 - ・市域関連記事・史料見出し作成、目録データ入力
- (4) 近世部会
 - ・史料調査 19回（朝熊町）
- (5) 近代部会
 - ・県外史料調査（国立国会図書館ほか） 2回
 - ・通町有文書調査 13回
- (6) 現代部会
 - ・県内史料調査 2回（津市、鳥羽市）
 - ・市内史料調査 5回（伊勢市朝熊町、佐八町）
- (7) 考古部会
 - ・石質調査 3回（高倉山ほか）
 - ・出土遺物整理 54回

○ 電算関係

1 三重県電子自治体推進連絡協議会及び情報システムワーキンググループへの参加

三重県が開催する電子自治体推進連絡協議会に参加し、他市町及び（財）三重県市町村振興協会とともに、県内の総合的な電子自治体の推進に向けて取り組んだ。

また、同協議会内に設置されている、GIS利活用研究会、外部専門家支援制度等のワーキンググループに参加し、共同導入や運用方法などについて、調査研究を行った。

このうち、GIS利活用研究会では、自治体ごとの利用状況に格差があることから協議が進まず、平成21年度からは「公開型」、「統合型」、「汎用型」の3つのタイプに分けたワーキンググループを設置し、共同化も視野に入れながら調査研究を行うこととした。

一方、外部専門家支援制度のワーキンググループについては、高額化する電算関連経費の適正化やそれらに関する行政としての説明責任を果たせるよう、市町が共同で外部専門家の支援を受けられるような制度の構築をめざして協議を進めた。

2 伊勢市情報化推進委員会の開催

当市における情報化施策の円滑な推進を図るため、以下のとおり情報化推進委員会を開催した。

	開催月日	協議事項
第1回	平成20年4月23日	・図書館電算管理システム拡張及びデータ統合業務委託等に係る仕様について
第2回	平成20年5月28日	・伊勢市市税コンビニ収納の拡張に伴う電算システム改修業務委託等に係る仕様について ・伊勢市小中学校教育用コンピュータのリース更新に伴う機器等入替仕様について
第3回	平成20年7月2日	・伊勢市内部情報系システム更新事業に係る仕様について

第4回	平成20年8月25日	・伊勢市内部情報系システム更新事業に係るシステム選定について
第5回	平成20年10月7日	・住民税の年金特別徴収に係る住民情報システム改修及び地方税ポータルシステム導入業務委託に係る仕様について
第6回	平成21年1月14日	・平成21年度介護保険制度改正等に伴う介護保険システム改修業務委託に係る仕様について
第7回	平成21年3月24日	・伊勢市地域情報化基本方針（案）について

3 システムの更新

(1) 内部情報系システムの更新

財務会計、文書管理、グループウェア、出退勤管理及び人事・給与の各種内部情報系システムについて、システム維持管理経費の削減や、システム間連携による事務効率の向上を図るために、各システムのリース期間満了に合わせ、これら全てのシステムを一体的なものへと、更新を行った。同時に、各種データの一元的な活用や、機器上の無駄を省くことで、サーバ室内のラック数の削減（5から2ラックへ）を図った。システムの導入に当たっては、庁内に検討委員会を組織し、総合評価方式によるシステム選定を行った。

平成20年度に更新完了したシステムは、財務会計、文書管理及びグループウェアの3システムであり、出退勤及び人事・給与システムについては、平成21年12月に稼動予定である。

(2) LGWAN（総合行政ネットワーク）提供設備の更新

平成15年11月に導入したLGWAN提供設備について、機器の保守可能期間が満了することから、公的個人認証システムや後期高齢者医療システムへの影響を考慮し、LASDEC（地方自治情報センター）の要請に基づき、更新を行った。更新に当たっては、他市町との共同利用方式の検討も行ったが、コスト面や効率面から単独導入の方が有利と判断した。

4 セキュリティ対策事業

(1) クライアントパソコンの更新

旧式のため処理能力が低く、業務に支障があると思われる庁内のクライアントパソコン（132台）の最新機種への更新を完了し、脆弱性に対するセキュリティの向上と事務処理能力の向上を図った。

(2) ウィルス対策

ウィルス対策ソフト（1,495ライセンス分）を最新のバージョンに更新し、対ウィルスのセキュリティ確保に努めた。

(3) ファイルサーバの更新

業務用データの一元的な管理とセキュリティの向上のため、小俣総合支所及び御園総合支所用として、ファイルサーバ用の機器2組を調達し、設定を完了した。

5 総合住民情報システム及び庁内共用システムの保守

総合住民情報システムをはじめとする、庁内各課で横断的に利用するシステムについて、その安定稼働を確保するため、下記のとおり委託契約を行い、システムの保守管理を実施した。

システム名	保守契約先	決算額（円）
総合住民情報システム	(株) 松阪電子計算センター	7,421,400
総合住民情報システム用ネットワーク	(株) 松阪電子計算センター	2,575,440
財務会計システム	(株) N T Tデータ東海	13,034,700
文書総合管理システム	(株) N T Tデータ東海	11,970,000
グループウェアシステム	富士通 (株) 三重支店	3,846,150
インターネットシステム	富士通 (株) 三重支店	10,258,500
インターネットシステム (旧小俣・二見統合分)	西日本電信電話 (株) 三重支店	5,460,000
ネットワークシステム	(株) N T Tデータ東海	6,552,000
L G W A Nシステム	富士通 (株) 三重支店	1,231,282
内部情報系システム保守 (更新分)	(株) 松阪電子計算センター	1,529,220
計		63,878,692

広 報 広 聴 課

○ 「広報いせ」「伊勢市おしらせ版」の発行

「広報いせ」（毎月1日発行）と「伊勢市おしらせ版」（毎月15日発行）を定期的に発行し、市政の方針や事業計画の概要、市の行事予定などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。

また、広告掲載事業の一つとして、平成20年5月号から「広報いせ」への広告掲載を実施し、新たな財源の確保に努めた。

（広告掲載件数：64件、収入金額：1,020,000円）

発行部数 「広報いせ」5～7・3・4月号 52,400部、8～2月号 52,350部／号、
「伊勢市おしらせ版」4月15日号～7月15日号 51,800部、8月15日号～3月15日号
51,850部／号

号数	発行月	頁数	主 な 記 事
おしらせ版	4/15	4	市のお知らせ（観光文化会館自主事業など）、イベント掲示板、イベントカレンダー
31	5月	34	当初予算が決定、みんなのまちの計画、伊勢市の在宅支援サービス、わが家の防災対策、組織の一部を移転しました、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	5/15	4	市のお知らせ（携帯電話用ホームページを開設など）、イベント掲示板、イベントカレンダー
32	6月	32	伊勢市地産地消の店を認定、観光振興基本計画が策定されました、私たちの地域だから私たちがやりたいことがある、伊勢市子ども家庭支援ネットワーク、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	6/15	4	市のお知らせ（伊勢市地産地消の店認定式など）、イベント掲示板、イベントカレンダー
33	7月	36	みんな笑顔 伊勢の元気人、お母さんと赤ちゃんの未来のために、市・県民税のお知らせ、伊勢神宮奉納全国花火大会、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	7/15	4	市のお知らせ（「8月17日 パートナーの日」啓発事業など）、イベント掲示板、イベントカレンダー

34	8月	30	特集 北京で羽ばたけ！、特定健康診査が始まります、長寿医療制度のお知らせ、市職員を募集・病院企業職員を募集、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	8/15	4	市のお知らせ（世界新体操選手権三重大会1年前記念イベントを開催など）、イベント掲示板、イベントカレンダー
35	9月	32	大地震に備えて、サン・サポート・スクエア伊勢、お伊勢さん健康マラソン大会、幼稚園の入園児・保育所の入所児を募集、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	9/15	4	市のお知らせ（介護予防講座 お達者セミナーなど）、イベント掲示板、イベントカレンダー
36	10月	24	いくつになっても元気でいきいき！、伊勢市の図書館が変わります！！、祭りのまつり（神嘗奉祝祭）、災害時要援護者台帳登録を受け付け、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	10/15	4	市のお知らせ（男女共同参画について語ろうなど）、イベント掲示板、イベントカレンダー
37	11月	28	すべての市立中学校で給食が実現！、いくつになっても元気でいきいき！、伊勢市地域福祉計画地域懇談会、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	11/15	4	市のお知らせ（12月3日（水）～9日（火）は障害者週間など）、イベント掲示板、イベントカレンダー
38	12月	28	パーク&バスライド、市の人事行政のあらまし、市の財政の健全性、市・県民税の改正などのお知らせ、健康づくり通信、情報コーナー、年末年始の業務案内、まちの話題
おしらせ版	12/15	4	市のお知らせ（観光文化会館自主事業など）、イベント掲示板、イベントカレンダー
39	1月	24	年頭あいさつ、3車線化の社会実験を行っています、ふるさと納税、病児保育エンゼルを利用してください、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	1/15	4	市のお知らせ（エコクッキングなど）、イベント掲示板、イベントカレンダー
40	2月	24	伊勢のまちを花いっぱい、くみ取り事業者の営業担当区域を指定、美し国三重 市町対抗駅伝、市・県民税の申告 所得税の確定申告、下水道事業受益者負担金の支払いについて、

			健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	2/15	4	市のお知らせ（観光文化会館自主事業など）、イベント掲示板、イベントカレンダー
41	3月	22	伊勢市の都市基盤整備、高齢者医療に関するお知らせ、住所異動の手続きはお早めに、市の組織が変わります、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題
おしらせ版	3/15	4	市のお知らせ（もうすぐ桜の季節ですなど）、イベント掲示板、イベントカレンダー
42	4月	26	わたしたちの下水道、固定資産（土地・家屋）の評価替え、コンビニエンスストアで市税が納付できます、定額給付金の給付手続き、健康づくり通信、情報コーナー、まちの話題

○ C A T V 行政情報番組

地域に根ざした行政情報番組「伊勢市テレビ広報『みて きいて 伊勢』」（約30分）を制作し放送した。

「特集」「information」などの行政情報だけでなく、市民活動センターやセンター登録団体からの情報をお知らせする「市民活動ニュース おいらないパーティ」や、市民が参加した行事やできごとを伝える「まちの話題」を放送した。

また、特別番組として、平成20年4月に「ふるさと未来づくり～市長との意見交換会～」、平成21年3月に「宮川プロジェクト活動報告会2008」の模様を放送した。

月	特 集	そ の 他
4	平成20年度に行う主な事業	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいらないパーティ」 まちの話題
5	宮川ルネッサンス事業	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいらないパーティ」 まちの話題
6	産業支援センターが完成	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいらないパーティ」 まちの話題
7	道路交通法が改正されました	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいらないパーティ」 まちの話題
8	みんなのまちの計画	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいらないパーティ」 まちの話題

9	災害への備え	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいないパーティ」 まちの話題
10	伊勢観光活性化プロジェクト会議	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいないパーティ」 まちの話題
11	伊勢市の図書館が変わります	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいないパーティ」 まちの話題
12	中学校給食共同調理場が完成	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいないパーティ」 まちの話題 年末年始の業務案内
1	市長新春あいさつ 全日本花いっぱい伊勢大会を5月 に開催	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいないパーティ」 まちの話題 年末年始の業務案内
2	下水道計画	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいないパーティ」 まちの話題
3	資源物の出し方が変わります	information（市からのお知らせ） 市民活動ニュース「おいないパーティ」 まちの話題

放送回数

1日6回（午前6時・9時・正午・午後3時・6時・9時）

○ 伊勢市ケーブルテレビ加入促進補助金の交付

ケーブルテレビの加入促進を目的に、新たにケーブルテレビに加入する市民に、ケーブルテレビ加入促進補助金を交付した。

交付件数 宅内工事費 692件（個人）

交付金額 宅内工事費 3,460,000円（個人5,000円×692件）

○ ホームページ

市への手続きや業務の案内、施政方針や事業の概要などを、市ホームページに分かりやすく分類・掲載し、行政と市民の情報の共有を図った。また、市民からの提案・意見などを受け付け、その回答を行う「市民の声」では、市民と双方向のコミュニケーションの充実を図った。

平成19年7月に設置したホームページ研究会で、トップページの見直し、携帯電話用ホームページについて検討し、平成20年4月にトップページをリニューアルするとともに、携帯電話用ホームページを開設した。平成20年度も引き続き、掲載内

容の点検や、外国語ホームページの検討などを行った。

また、広告掲載事業の一つとして、市のホームページへのバナー広告の掲載を平成20年4月1日から開始した。（平成20年度実績：38件、570,000円）

- ・ コンテンツ…1,409件（平成21年3月31日現在）
- ・ 利用件数（平成20年4月1日～平成21年3月31日）…578,701件（48,225件/月）

○ 情報提供のガイドライン

市民と市との行政情報の共有を一層進めるため、「情報提供のガイドライン」に基づき、市民が知りたいであろう行政情報や、市が市民に知ってほしい情報、市民が入手することにより官民協働のまちづくりが期待できる情報などを市のホームページで提供している。

- ・ ガイドラインに基づき提供している行政情報

市の基本計画、パブリック・コメントの状況、主要事業の概要、市長記者会見資料、市議会提出案件に関する資料、審議会・委員会などの資料、市の財政状況や予算・決算に関する資料、人事・給与に関する資料、イベント情報など15項目

- ・ ガイドラインに基づく提供情報件数（平成21年3月31日現在）…405件

○ 報道機関への情報提供

報道機関との連絡を密にするため、月1回（12月を除く）市長の定例記者会見を実施した。また、適宜市政の情報を提供し、広報活動の充実に努めた。

○ 市民便利帳の発行

官民協働事業、広告掲載事業の一つとして、民間事業者と共同で「市民便利帳」を発行した。

便利帳には、住民登録などの各種手続き、防災・救急や福祉制度の紹介など生活に身近な行政情報のほか、イベントカレンダー・歳時記や医療・福祉施設などの地域情報、広告等を掲載、事業者から市内の各世帯に無償で配布された。

また、新たに転入した世帯等に対して、戸籍住民課、各総合支所生活環境課、各支所窓口で配布を行った。

○ 市民相談の実施

毎月、市役所広報広聴課相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、毎月、二見生涯学習センター、小俣公民館において行政相談を、市役所会議室において、多重債務相談を実施した。

相談名	実施日	相談担当者
法律	毎週月曜日 午後1時30分～ (抽選で8名)	弁護士 北岡 雅之 " 濱田 秀也 " 川端 康成 " 森田 明美
行政	毎月第2火曜日 午後1時～3時 (二見生涯学習センター) 毎月第3火曜日 午後1時～3時 (広報広聴課相談室) 毎月第4火曜日 午後1時～3時 (小俣公民館)	行政相談委員 浦 圭子 " 濱口 良子 " 森本 保治 " 谷里 登美子 " 雪岡 義
人権	毎月第2木曜日 午後1時～4時	人権擁護委員 西村みゑ子 野口 佳子 泰道 詞子 濱千代日出雄 松家 香代子 大西 良太 岡島久美子 中北 善明 宇仁 陽子 埜崎 共子 橋爪 紘一 河野 英子 倉本 啓二
登記	毎月第2火曜日 午後1時～4時	県司法書士会伊勢支部会員
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～3時 (先着4名)	県民生活センター交通事故相談員 3名 NPO法人交通事故被害者支援センター相談員 1名
公証	毎月第1木曜日 午後1時～4時	公証人 中山 三雄
多重債務	毎月第3木曜日 午前9時30分～11時30分 (先着4名)	県司法書士会伊勢支部会員

区分 項目	法 律 相 談	行 政 相 談	人 権 相 談	登 記 相 談	公 証 相 談	交 通 事 故 相 談	多 重 債 務 相 談	計
登 記	12	1	0	25	3	0	0	41
家 庭	88	0	1	0	2	0	0	91
相 続	65	2	1	10	16	0	0	94
金 銭	99	0	0	1	1	0	37	138
土 地	57	3	1	8	1	0	0	70
都 市 計 画	1	0	0	0	0	0	0	1
福 祉	1	0	0	0	0	0	0	1
環 境	0	1	0	0	0	0	0	1
交 通 事 故	7	0	0	0	0	19	0	26
そ の 他	99	7	1	0	19	0	0	126
計	429	14	4	44	42	19	37	589

(単位：件)

○ 市政モニター事業

市政モニターを委嘱し、市政の運営について、モニター会議やアンケート等を通じて市民の意見や要望等の把握を行い、市政への反映に努めた。

○ 出前トークの実施

市民の視点に立った市政の推進を図るため、市の取り組む事業や施策などについて、市民からの依頼を受け、幹部職員が直接地域に説明に出向き、質疑応答や意見交換を通じて、これからのまちづくり等について共に考えるふれあい出前トークを実施した。

実施状況 1回実施 参加人数 10人

○ 市長懇談会

市民や地域の自治会、サークル、団体などからの意見や要望を広聴し、懇談会などを開催するとともに、行政への理解と協力を求め、解決に努めた。

実施状況 3回実施

○ 市民の声システム・市政への提案箱

市民ニーズや意見・要望等を把握し対応を促進するとともに、政策立案に結びつけられるように、市民の声登録システムを有効に活用し、インターネット、市政への提案箱、窓口などでの意見を集約した。

市政への提案箱・・・本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、福祉健康センターに設置

部	件数	受付方法		
		インター ネット	市政への 提案箱	その他
総務部	39	21	16	2
財務政策部	13	6	6	1
生活部	12	6	6	0
環境部	28	15	7	6
健康福祉部	15	7	7	1
産業部	9	3	3	3
観光交通部	48	22	17	9
都市整備部	28	16	10	2
検査室	0	0	0	0
会計課	0	0	0	0
二見総合支所	2	1	1	0
小俣総合支所	2	2	0	0
御園総合支所	0	0	0	0
上下水道部	9	5	4	0
教育委員会	34	21	13	0
議会事務局	5	2	3	0
選挙管理委員会事務局	0	0	0	0
監査委員事務局	0	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0	0
土地開発公社事務局	0	0	0	0
伊勢病院	1	1	0	0
消防本部	1	0	1	0
計	246	128	94	24
市民の声対象外	29	18	10	1

職 員 課

○ 人事関係

1 職員数

一般職職種別職員数は、次のとおりであった。

職 種	19. 4. 1	20. 4. 1	比 較
事 務	553 人	540 人	△13 人
技 術	125	121	△ 4
医 師	44	43	△ 1
医 療 技 術	56	55	△ 1
看 護 師	197	194	△ 3
准 看 護 師	26	24	△ 2
保 育 士	135	130	△ 5
保 健 師	28	31	3
栄 養 士	8	8	—
教 諭	19	18	△ 1
消 防	171	183	12
自 動 車 運 転 手	21	21	—
看 護 補 助 者	7	7	—
調 理 士	78	69	△ 9
技 能 士	28	25	△ 3
業 務 員	134	130	△ 4
医 療 相 談 員	2	2	—
診 療 情 報 管 理 士	—	2	2
計	1, 632	1, 603	△29

2 職員の異動状況

平成 20 年度中の採用及び退職職員の異動状況は次のとおりであった。

(1) 採 用 65 人

平成 20 年 4 月 1 日採用 55 人

事務職 17 人（県教委 5 人を含む）、事務職（身体障がい者枠）2 人、保育士 3 人、保健師 3 人、土木技術職 1 人、電気技術職 1 人、化学技術職 1 人、技能労務職（知的

障がい者枠) 1人、消防職(一般) 14人、消防職(救急救命士) 2人、医師5人、薬剤師1人、臨床検査技師1人、臨床工学技士1人、理学療法士1人、看護師1人
平成20年度の中途採用 10人
医師5人、看護師5人

(2) 退職 110人

定年46人、勸奨30人、普通27人、割愛7人

3 各種委員等の異動

任期満了等による各種委員等の異動は次のとおりであった。

(1) 副市長の異動

亀井秀樹	平成21年3月31日	辞任
------	------------	----

(2) 監査委員の異動

品川幸久	平成20年12月4日	辞任
------	------------	----

菌田順一	平成20年12月5日	選任
------	------------	----

(3) 教育委員会委員の異動

川上長歳	平成20年7月9日	辞任
------	-----------	----

中居信明	平成20年7月10日	任命
------	------------	----

楠田英子	平成20年12月22日	任期満了
------	-------------	------

楠田英子	平成20年12月23日	任命
------	-------------	----

(4) 公平委員会委員の異動

北岡雅之	平成20年12月25日	任期満了
------	-------------	------

北岡雅之	平成20年12月26日	選任
------	-------------	----

牛場まり子	平成21年3月15日	辞任
-------	------------	----

(5) 固定資産評価審査委員会委員の異動

久保徹	平成20年12月25日	任期満了
-----	-------------	------

久保徹	平成20年12月26日	選任
-----	-------------	----

小山孝司	平成20年12月25日	任期満了
------	-------------	------

小山孝司	平成20年12月26日	選任
------	-------------	----

西田和之	平成20年12月25日	任期満了
------	-------------	------

西田和之	平成20年12月26日	選任
------	-------------	----

池田典子	平成20年12月25日	任期満了
------	-------------	------

高松宏次	平成20年12月25日	任期満了
------	-------------	------

中林年美	平成20年12月26日	選任
------	-------------	----

植村公順	平成20年12月26日	選任
------	-------------	----

4 職員採用試験の実施について

職員採用試験を次のとおり実施した。

(1) 申込期間 平成 20 年 8 月 1 日～8 月 15 日

(2) 実施日及び場所

ア 第一次試験（筆記試験）

平成 20 年 9 月 21 日 市役所及び福祉健康センター

イ 第二次試験（個人面接）

平成 20 年 10 月 15 日～10 月 16 日 市役所

ウ 第三次試験（集団討議・個人面接）

平成 20 年 10 月 25 日 市役所（集団討議）

平成 20 年 11 月 3 日 市役所（個人面接）

(3) 実施状況

区 分	受験申込数	受験者数	一次合格者	二次合格者	合格者数	採用者数
事 務 職	275 人	241 人	40 人	27 人	19 人	17 人
事 務 職 (身体障がい者枠)	1	1	1	1	1	1
保 育 士	47	43	11	8	5	5
保 健 師	1	1	1	1	1	1
土木技術職	14	10	4	3	2	2
土木技術職 (身体障がい者枠)	0	—	—	—	—	—
計	338	296	57	40	28	26

(参 考)

消防職員

区 分	受験申込数	受験者数	一次合格者	合格者数	採用者数
消 防 職 (一般)	44 人	40 人	9 人	7 人	7 人
消 防 職 (救急救命士)	5	4	4	2	2

○ 人材育成関係

1 職員研修

職員の資質向上及び人材育成を図るため、次のとおり職員研修を実施した。

また、知識の習得、学びあう風土の形成を目的とし、庁内講師による数種類の研修科目の中からそれぞれの職員が自分の受講したい研修を選択する研修「人材育成カレッジ」を開講した。人材育成カレッジでは1講座（2時間程度）を1単位とし、平成20年度は一般職員に2単位を必修とした。また、19年度の接遇研修未受講者については、臨時・嘱託職員も含めて接遇研修1単位を必修とした。

平成20年度職員研修実施結果

(1) 一般研修（人材育成カレッジ除く）

区分	研修科目	対象者	日数	修了者数
市 実 施 研 修	部長研修	部長級職員	1日	24人
	課長研修	課長級職員	1	25
	係長研修	係長級職員	1	25
	新任課長補佐級事例研究研修	新任課長補佐級職員	—	10
	新規採用職員研修（採用時研修）	新規採用職員	5	23
	新規採用職員研修（事業創造研修）	新規採用職員	2	23
	新規採用職員研修（総合案内研修）	新規採用職員	1	17
	新規採用職員研修（ごみ・資源収集体験研修：夏期）	新規採用職員	1	21
	新規採用職員研修（ごみ・資源収集体験研修：冬期）	新規採用職員	1	21
	新規採用職員研修（福祉施設体験研修）	新規採用職員	2	18
	目からうろこ研修「マイナス発想からプラス発想への転換」	全職員	1	143
	目からうろこ研修「地域で愛される地域一番店の作り方」	全職員	1	125
	目からうろこ研修「食による町おこしと地域ブランド戦略」	全職員	1	139
	技能労務職員研修	技能労務職員	1	219
	計			833

(2) 一般研修 (人材育成カレッジ)

No.	研修科目	対象者	回数	受講者数
1	公務員倫理	全職員	1回	21人
2	地方公務員法	全職員	1	16
3	地方自治法	全職員	2	24
4	財政講座	全職員	1	15
5	税制度	全職員	2	33
6	議会のしくみ (初級)	全職員	2	28
7	支払事務	全職員	2	53
8	契約事務	全職員	2	42
9	介護保険制度	全職員	2	38
10	国民健康保険・長寿医療 (後期高齢者医療)	全職員	3	95
11	災害時の対応	全職員	3	75
12	伊勢の歴史・文化・民俗行事	全職員	3	60
13	市政の課題と方向性	全職員	2	40
14	AEDと救急救命	全職員	4	99
15	裁判員制度	全職員	3	104
16	法制執務 (初級)	全職員	1	16
17	TQM研修	全職員	1	7
18	図解研修	全職員	1	26
19	接遇研修	全職員	5	87
20	DOIT研修①おもてなしの心	全職員	1	15
21	DOIT研修②チームワーク	全職員	1	13
22	DOIT研修③リッツカールトン大阪	全職員	1	13
23	DOIT研修④ネッツトヨタ南国	全職員	1	8
24	楽しい人権	全職員	1	5
25	人に歴史あり	全職員	2	62
26	森下市長「大いに語る！」	全職員	1	19
	計			1,014

(3) 派遣研修

区分	研修科目	対象者	日数	受講者数
派遣 研修 三重県自治会館組合	公営企業会計研修	公営企業会計担当者（上下水道課、病院、出納室）監査委員事務局職員	2日	5人
	マネージャー研修Ⅰ	採用後12年以上または係長級の職員	2	2
	訴訟対応研修（第1回）	全職員	1	3
	法制執務研修	全職員	3	4
	三重地方行財政アカデミー（第1回）	全職員	1	2
	三重地方行財政アカデミー（第2回）	全職員	1	1
	スリーステップ研修	採用後6年以上の職員	2	1
	ツーステップ研修	採用後3年以上6年未満の職員	3	2
	第5回トレンドセミナー 「地方自治制度改革と道州制のゆくえ」	全職員	1	1
	職場の活性化を考えるセミナー	全職員	1	1
	安全衛生基本セミナー	全職員	1	2
	リーダー研修	課長級職員及び課長補佐級職員 在職2年以内	2	1
	コーチング研修	全職員	2	1
	法務トレンド研修～危機管理～	全職員	1	3
プレゼンテーション研修	全職員	2	1	

派遣 研修	三重県自治会館組合	第7回トレンドセミナー「新型インフルエンザの脅威と影響について」	全職員	1日	9人
		コミュニケーションマインド向上研修	全職員	1	1
		訴訟対応研修（第2回）	全職員	1	2
		第10回トレンドセミナー「景観から考える地域資源を活かした魅力づくり」	全職員	1	1
		不当要求対策研修	全職員	1	6
		THE政策～情報発信講座～	全職員	1	1
		女性セミナー	全職員	1	1
		計			51
	JAMP	循環と共生の環境づくり～地域におけるバイオマスの利活用～	係長級～課長級	4	1
		計			1
	国際文化アカデミー	住民視点での災害対応～減災と復興～	防災担当職員ほか市民、健康福祉、衛生等関係部局職員	3	1
		法令実務	法令実務経験6ヶ月以上又はこれに相当する経験を有する職員	10	2
		政策形成のための自治体法務	全職員	5	3
		学習する組織を目指して	全職員	3	1
		自治体のイメージ戦略～フィールドワークから学ぶ地域資源の生かし方～	観光・産業振興・地域振興、企画・広報に携わる職員	3	2
		不当要求・行政対象暴力への対応	全職員	3	2
		多文化共生社会対応コース	全職員	5	1
		地方自治体のための危機管理	全職員	3	1
ごみ減量化に向けた仕組みづくり	ごみの減量・リサイクルに関わる担当課の職員	4	2		

派遣研修	国際文化アカデミー	女性リーダーのためのマネジメント研修	女性職員	4日	1人
		NPOと地方自治体の協働～協働による地域づくり～	全職員	4	1
		児童虐待への対応	児童福祉に関係する職員	4	1
		計			18
	NOMA	新任担当者のための公金徴収事務を進めるための法律実務	全職員	2	1
		人事評価制度の円滑運用実践講座	全職員	2	1
		家屋評価の基礎実務	全職員	2	1
		土地評価と課税の実務	全職員	2	1
		問題職員への対応（分限を含む）など地方自治体をめぐる労務管理上の法律実務	全職員	2	1
		用地交渉と営業補償・補償額算定の実務	全職員	3	1
		初歩から学ぶ！地方自治体職員のための複式簿記入門講座	全職員	2	1
		地方自治体職員のためのわかりやすい企業会計入門	全職員	2	1
	計			8	
	自治大	自治大学校 第2部課程第153期	係長級以上の職員（30歳以上50歳未満）	55	1
		計			1
	三重県地方自治研究センター	マニフェストと自治体政策	全職員	1	6
		「よりよい公共サービスの提供と公務労働」研究会	全職員	4	1
		「地域雇用政策」ワーキンググループ	全職員	1	1
		三重県地方自治研究集会～創ろう、市民自治のゆたかな社会～	全職員	1	16
		やさしい地方財政講座	全職員	3	1
		やさしい地方財政講座（講演会）	全職員	1	3
経済の視点から男女共同参画を問う		全職員	1	4	

派遣研修	地方自治研究センター	自治講演会「内部告発は裏切りか社会正義か」	全職員	1日	1人
		職場のメンタルヘルス研修会	全職員	1	6
		男女共同参画トップセミナー「男女共同参画（ジェンダー平等）が問いかけるもの」	全職員	1	4
		計			43
	その他	【三重短期大学】 政策研修	全職員	—	1
		【伊勢志摩地区市町村職員研修協議会】 メンタルヘルス研修	全職員	1	2
		【三重県】 第1回オープンセミナー	全職員	1	1
		【皇學館大学】 求められる日本のリーダー像について	全職員	1	10
		【商工会議所・市】 商工会議所若手職員とのワーキンググループ	全職員	—	5
	計			19	
合計				141	

2 ISEプロジェクト

「強みを伸ばし弱みを克服する」個々の職員の能力向上及び「もっと楽しく仕事をしていく」組織力の向上を目指し、ISEプロジェクトに取り組んだ。

ISEプロジェクトは「業務改善制度」「ステップアップデザイン」「職員提案制度」「事業創造制度」「目標管理制度」の5制度をまとめたプロジェクトであり、年度末、ISEプロジェクト発表会として、「業務改善の取組み」「事業創造制度の取組み」「職員提案の職員投票による上位3事例」を発表した。

(1) 業務改善制度

目的：職員の問題意識の醸成、職員の改善意識の向上、事務の効率化、組織の体質改善

実施実績：12件

実施内容（※ISEプロジェクト発表会発表グループ順）

No.	所属	グループ名	人数	取組内容
01	職員課	ジンジャイエール	3人	能力職務態度考課制度の導入～人事考課制度の構築～
02	介護保険課	チームライパ	6	事業者との連携

03	維持課	現状維持+	5人	設計変更業務の効率化
04	基盤整備課	カダヤシ	5	河川災害復旧事業マニュアル
05	企業誘致課	TEAM 企業誘致	3	企業誘致
06	職員課	ストレスバスターズ	2	メンタルヘルス相談窓口の充実

《発表しなかったが、他に取り組みられた業務改善》

No.	所属	取組内容
01	電算システム課	管理業務の見直し
02	財政課	健全財政を目指した予算編成
03	収税課	収納業務の簡素化・効率化
04	戸籍住民課	窓口事務対応の統一（総合支所・9支所）
05	戸籍住民課	窓口業務の改善及び証明書申請時の本人確認の徹底
06	介護保険課	滞納整理システムの構築（完成から運用へ）

(2) ステップアップデザイン

目的：職員の自己啓発の促進、管理監督職の「育成者」への育成、「学習する組織」への転換

実施実績：51人

(※対象者（課長補佐係長級 212名、一般職員 376名、計 588名）の 8.7%)

(3) 職員提案制度

目的：職員の改善意識の向上、職員の政策形成能力の向上、事務の効率化

提案実績：28件（※期間中に事務局へ到着したもの）

(4) 事業創造制度

目的：職員の発想力・政策形成能力の向上、組織の活性化、市政全般の活性化

実施実績：5件（※自主参加：1件、新採研修の一環としての参加：4件）

各グループのテーマと採否

- ①teamいも日和「さつまいもで屋上緑化」 … 採用（環境課採用、活動は自主的）
- ②新採1班「郷土愛プロジェクト」 … 不採用
- ③新採2班「伊勢のうまい缶（感）&安心缶（感）」 … 不採用
- ④新採3班「子育て支援住宅計画」 … 不採用
- ⑤新採4班「三丁目の夕日」 … 不採用

(5) 目標管理制度等

目的：組織目標の共有、PDSサイクルの構築、職員の問題意識の向上、能力開発・動機付け、チャレンジする組織風土の構築

研修実施実績：7回 計866人

研修	対象者	参加人数
目標管理：目標設定研修会	係長級以上の職員のうち、今年度初めて目標管理を実施する者	15人
難易度調整会合	部長・外局の長	17
目標管理：中間フォロー面談研修会	今年度初めて面談を実施する、組織の長である職員	7
目標管理：達成確認研修会	係長級以上の職員のうち、今年度初めて目標管理を実施する者	11
能力・職務態度考課：部課長級研修	部長級・課長級	78
能力・職務態度考課：課長補佐・係長級研修	課長補佐級・係長級	189
次年度人事考課説明 (H21 ISEプロジェクト説明会 の際実施)	部長級～一般職員	549

(6) ISEプロジェクト説明会

実施日時：平成21年2月5日（木）、6日（金）、12日（木）、13日（金）

…部課長級 87人

平成21年2月12日（木）、13日（金）、16日（月）～19日（木）

…課長補佐・係長級 169人

平成21年2月23日（月）～26日（木） …一般職員 293人

実施実績：計549人

内容：新たに試行する、能力・職務態度考課制度等を含むISEプロジェクト5制度について、制度の理解促進と取り組みの強化を図った。

(7) ISEプロジェクト発表会

実施日時：平成21年2月9日（月） 13時30分～16時30分

- 内容：
- ①業務改善発表
 - ②事業創造制度成果発表
 - ③職員提案上位3事例発表・採用最多所属発表
 - ④業務改善制度表彰式

ISEプロジェクト発表会 職員提案職員投票上位3事例

- 1位 職員への情報周知 得票数16
2位 HPの施設情報に「地図、利用可能日時、利用料」を載せる
得票数11
3位 通路を確保するため、傘立て等を片付ける
得票数8

ISEプロジェクト発表会 業務改善制度審査結果

- ISEグランプリ 基盤整備課 「カダヤシ」
ISE準グランプリ 職員課 「ストレス バスターズ」
パフォーマンス賞 維持課 「現状維持+」

3 職員に対する情報発信

職員の資質向上及び人材育成を図るため、次のとおり情報発信を行った。

(1) つれづれサロン

実施期間：平成20年4月7日（月）～平成21年3月31日（火）

実施実績：121回（隔日発行）

テーマ：政治・経済・社会等、幅広く意識啓発・知識獲得に寄与すること
つれづれサロンのISEプロジェクト等コラボキャンペーンを実施した。

○ステップアップデザインキャンペーン

平成20年4月25日（金）～平成20年5月8日（木）

（第8回～第11回 計4回）

○業務改善キャンペーン

平成20年5月12日（月）～平成20年5月26日（月）

（第12回～第17回 計6回）

○事業創造キャンペーン

平成20年6月19日（木）～平成20年6月27日（金）

（第26回～第29回 計4回）

○あいさつ&えがおキャンペーン

平成20年10月21日（火）～平成20年11月7日（金）

（第69回～第75回 計7回）

(2) MI通信

「みんなのまちの計画」をテーマに、平成20年12月号として発行した。

(3) 学ブんです

実施期間：平成20年4月1日（火）～平成21年3月31日（火）

「地方公務員法」「地方自治法」をテーマに、計20回発行した。

4 その他

(1) 人材育成に関するアンケート調査

実施日：平成21年2月5日（木）～3月13日（金）

対象者：事務・技術の職員（無記名回答）

有効回答数：376件

(2) 市役所のサービスに関するアンケート調査

実施日：平成21年3月4日（水）～3月31日（火）

対象者：来庁する市民（無記名回答）

実施場所：①本庁舎1階総合案内横

②小俣・二見・御菌各総合支所窓口

有効回答数：274件（本庁 239、小俣 4、二見 17、御菌 14）

(3) あいさつ&えがおキャンペーン

実施日：平成20年10月20日（月）～11月7日（金）

実施方法：職員の接遇意識向上のため、職場へのポスター掲示、出勤時の声かけを実施した。

○ 給与厚生関係

1 職員給与費の状況（普通会計予算）

区 分	職 員 数 (A)	給 与 費				1人当たり 給 与 費 (B/A)
		給 料	職 員 手 当	期 末 勤 勉 手 当	計 (B)	
平成 20 年度	人 1,103	千円 4,358,850	千円 641,568	千円 1,781,977	千円 6,782,395	千円 6,149

- (注) 1 職員手当には、退職手当・退職手当組合負担金を含まない。
 2 給与費は当初予算に計上された額である。
 3 市長および副市長の給与費は除く。

2 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（平成 20 年 4 月 1 日現在）

区 分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	325,201 円	40.9 歳

3 職員の初任給の状況（平成 20 年 4 月 1 日現在）

区 分	決定初任給	
一般行政職	大学卒	178,800 円
	高校卒	149,800

4 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成 20 年 4 月 1 日現在）

区 分		経験年数 10 年	経験年数 15 年	経験年数 20 年
一般行政職	大学卒	266,106 円	304,567 円	350,420 円
	高校卒	227,700	274,850	314,950

5 一般行政職の級別職員数の状況（平成 20 年 4 月 1 日現在）

区分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	計
標準的な職務内容	職 員	職 員	職 員	係 長	課 長 補 佐	課 長	部 長	
職員数	人 22	人 64	人 195	人 103	人 50	人 70	人 25	人 529
構成比	% 4.1	% 12.1	% 36.9	% 19.5	% 9.5	% 13.2	% 4.7	% 100.0

- (注) 1 伊勢市職員給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれに該当する代表的な職名である。

6 職員手当の状況

期末手当 勤勉手当	(平成20年度支給割合)				
		期末手当	勤勉手当	計	
	6月期	1.40月分	0.75月分	2.15月分	
	12月期	1.60	0.75	2.35	
	計	3.00	1.50	4.50	
	職制上の段階、職務の級等による加算措置 有				
退職手当	(平成20年度支給率)				
	区 分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
	自己都合	23.5 月分	33.5 月分	47.5 月分	59.28 月分
	勸 奨 定 年	30.55	41.34	59.28	59.28
	その他の措置 ・定年前早期退職特例措置(2~20%加算) 1人当たり平均支給額(平成20年度決算額) 自己都合 1,929千円 勸奨・定年 24,883千円 (注)退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額である。				

7 特別職の報酬等の状況

区 分		給 料 月 額 等
給 料	市 長	平成17年11月1日適用 1,013,000円
	副 市 長	785,000
報 酬	議 長	平成17年11月1日適用 567,000円
	副 議 長	509,000
	議 員	451,000
期末手当	市 長 副 市 長	(平成20年度支給割合)
		期末手当
		6月期 2.10月分 12月期 2.30 計 4.40
	職制上の段階、職務の級等による加算措置 有	
議 長 副 議 長 議 員	(平成20年度支給割合)	
	期末手当	
	6月期 1.60月分 12月期 1.70 計 3.30	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 有		

8 公務災害発生状況

区 分	発 生 件 数	認定請 求件数	認 定 件 数	認定外 件 数	公務災害による休暇取得状況					
					1日 未満	3日 以内	10日 以内	20日 以内	1か月 未満	1か月 以上
公務災害	26	26	24	2	2	1	4	3	—	2
通勤災害	3	3	3	—	—	—	—	—	1	2

9 労働安全衛生関係

労働安全衛生法及び伊勢市職員安全衛生管理規則に基づき、職場における職員の安全と健康を確保するとともに快適な職場環境の形成に努めた。

(1) 伊勢市職員安全衛生委員会の開催 2回

第1回 平成20年5月20日（火）

- ・平成19年度公務災害発生状況について
- ・平成19年度交通事故発生状況について
- ・平成19年度各所属部会活動状況について
- ・平成19年度健康診断結果について
- ・平成20年度安全衛生管理年間計画について

第2回 平成20年10月8日（水）

- ・庁舎外夜間業務等対策について
- ・平成20年度公務災害発生状況について
- ・平成20年度交通事故発生状況について
- ・平成20年度各所属部会活動状況について

(2) 伊勢市職員安全衛生委員会・各所属部会の開催結果

部会名	部会開催回数	主な開催内容
本庁舎部会	7回	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・本庁舎安全管理関係 ・交通安全講習会の開催（受講者64名） ・交通事故再発防止のチラシ配布（配布枚数583枚）
保育所部会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・衛生管理について ・メンタルヘルス講習会の開催

清掃部会	11回	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・バック誘導研修（南部自動車学校へパッカー車持込） ・交通安全講習会の開催 ・津市交流研修（4名派遣）
佐八部会	8	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・重機を使用した直営業務の現場巡視 ・安全管理研修会の実施 ・腰痛防止について
二見総合支所部会	6	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・健康体操の実施 ・保健師によるメンタルヘルスに関する講演
小俣総合支所部会	13	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・メンタルヘルス研修会の開催（受講者30名） ・交通安全講習会の開催（受講者19名） ・救急法（AED）講習会（受講者6名） ・健康管理（メタボ対策）講習会の開催（受講者10名）
御菌総合支所部会 （農林課・水産課 ・農業委員会 含む）	6	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・メンタルヘルス対策について ・交通安全講習会（受講者48名） ・時間外勤務の削減について
上下水道部会	11	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・時間外勤務及び年次有給休暇等取得状況について ・作業主任者技能講習について ・陸上自衛隊航空学校の視察
病院部会	9	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・作業環境測定の結果について ・健康診断受診項目の変更について ・院内暴力等に対するマニュアルの作成 ・針刺し事故防止マニュアルの作成
教育部会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・救急法（AED）講習会の開催（受講者11名） ・交通安全講習会の開催（受講者13名）
消防部会	7	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故及び公務災害の防止対策について ・職場巡視の実施 ・新型インフルエンザに関する研修の報告 ・緊急自動車運転研修への参加 ・消防庁舎安全管理関係

(3) 安全運転研修

交通事故の防止と交通安全に対する意識の高揚を図るため、三重県交通安全研修センターが実施する安全運転研修へ職員を派遣した。

- ・実施日 平成20年8月20日、8月21日
- ・内容 日常慣れない状況下（狭路、急制動、スキッド、スラローム）での運転を体験することにより、正しい運転姿勢やハンドル、ブレーキ操作の重要性を学んだ。
また、体験型シミュレーション施設を使用し危険予測の重要性を学んだ。
- ・対象者 新規採用職員等
- ・受講者数 32人（8月20日16名、8月21日16名）

(4) メンタルヘルス研修の実施

所属長を対象に管理監督者向けのメンタルヘルス研修を実施した。

- ・実施日 平成20年4月18日
- ・内容 メンタルヘルス対策と管理監督者の役割
- ・講師 中央労働災害防止協会中部安全衛生サービスセンター
片岡 頼博（心理相談員）
- ・受講者数 79名

10 健康診断等

全職員を対象に定期健康診断を年1回（技能労務職員、保健師等の職種については特別健康診断を含め年2回）実施した。

また、OA機器の普及に伴いVDT作業従事者を対象とする健康診断を実施したほか、希望者を対象に胃検診や必要に応じB型肝炎検査及び破傷風予防ワクチン接種を実施した。

(1) 定期健康診断（全職員）・VDT作業従事者健康診断

実施年月日	検査項目	受診者数	判定
20.11.17～ 21.1.29	問診及び診察 胸部X線検査 血圧測定 血液検査 尿検査 心電図	1,774人	・要治療、要精検 230人 ・要観察 857 ・治療中 11 ・有所見正常 19 ・異常なし 657

(2) 特別健康診断（技能労務職員、保健師、看護師、消防職員等）

実施年月日	検査項目	受診者数	判定
20.6.16～ 20.7.24	問診及び診察 胸部X線検査 血圧測定 血液検査 尿検査 心電図	1,207人	<ul style="list-style-type: none"> ・要治療、要精検 257人 ・要観察 620 ・治療中 4 ・有所見正常 69 ・異常なし 257

(3) 胃検診

実施年月日	内容	受診者数	判定
20.10.14	胃部X線撮影	37人	<ul style="list-style-type: none"> ・異常所見なし 36人 ・念のため精密検査 1

(4) B型肝炎検査

実施年月日	検査及び接種を受けた人員	
20.4.14～20.7.16	抗体検査	64人

(5) 破傷風予防ワクチン接種

実施年月日	接種を受けた人員	
20.7.14～20.7.15	ワクチン接種2回目（1回目 平成19年度接種済者）	6人
20.12.22～20.12.26	ワクチン接種3回目（1回目 平成19年度接種済者）	6
21.2.3	ワクチン接種1回目	8
21.3.6	ワクチン接種2回目（1回目 平成20年度接種済者）	8

(6) VDT作業従事者健康診断

実施年月日	内容	受診者数	判定
21.2.10、21.2.20 21.2.23～25 21.3.3、21.3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・問診 ・眼科学的検査 （視力検査、屈折 検査、眼位検査 調節機能検査） 	125人	<ul style="list-style-type: none"> ・異常なし 118人 ・異常が認められるので 眼科を受診 7

11 三重県市町村職員共済組合関係事務

組合員及びその家族の生活の安定と福祉の向上を図るため、三重県市町村職員共済組合が実施する短期給付（医療）や長期給付（年金）の申請の受付等を行った。

主なものは次のとおりである。

（１）短期給付

- ・保健給付 組合員や被扶養者の病気・負傷や出産、死亡に対する給付
- ・休業給付 長期間休業し、給料が支給されなくなった場合に生計を補償するため、支給される。育児休業手当金や傷病手当金、介護休業手当金等がある。
- ・災害給付 非常災害により、組合員または被扶養者が死亡した場合や組合員の住居が損害を受けた場合に支給される。弔慰金や災害見舞金がある。

（２）長期給付 共済年金のことで、退職共済年金や障害共済年金、遺族共済年金がある。

（３）福祉事業

- ・保健事業 人間ドックのほか、胃がん・婦人がん検診やインフルエンザ受診に要する費用、差額ベッド料の一部が助成される。
- ・宿泊事業 共済組合が指定する施設の宿泊料の一部が助成される。
- ・貸付事業 組合員の臨時の支出に必要な資金や住宅取得等のための資金の貸付で、普通貸付、住宅貸付、特別貸付（入学、結婚等）などがある。

管 財 契 約 課

○ 契約関係

1 契約方法の概要

伊勢市電子入札・物品調達システムの導入に伴い、平成20年6月以降の発注分より、入札・契約制度を変更し、従来の「条件付一般競争入札」及び「受注希望型指名競争入札」については「要件付一般競争入札」に統合し、「定時見積合わせ」については、「自由参加型見積合わせ（通称：オープンビッド）」に名称を変更するとともに、平成20年7月からは電子入札を本格的に実施している。

平成20年5月まで

(1) 受注希望型指名競争入札

発注情報を管財契約課前掲示板及び伊勢市HP上に掲示し、それぞれの入札参加資格要件に該当し入札参加を希望する業者は、入札参加申請を経て、期日までに入札書を提出する方式。

対象案件	・工事、コンサル 予定価格 130万円超、1億5千万円未満 ・物品 予定額 80万円超 ・印刷、その他業務委託 // 50万円超 ・物件の借入れ // 40万円超
対象業者	伊勢市の一般競争入札等資格者名簿に登録されており、案件毎の参加資格要件を満たす業者
発注情報の掲示日時	・工事、コンサル 毎週木曜日 16時頃（基本原則） ・物品、印刷、その他業務委託、物件の借入れ 毎週火曜日 16時頃（基本原則）
参加申込みの方法	受注希望型指名競争入札参加申込書を管財契約課へFAXで申込み
参加資格の確認通知	参加申込書の内容を確認し、FAXで参加資格の有無を通知
入札書の提出方法	書留郵便、信書便または管財契約課の入札箱へ直接投函
入札書の開札	3名の立会者のもと開札
結果の公表	入札日の翌日中に伊勢市HP及び管財契約課閲覧室にて公開

(2) 定時見積合わせ

発注情報を管財契約課前掲示板及び伊勢市HP上に掲示し、該当案件に参加を希望する業者が掲示された発注情報を見て、期日までに見積書を提出する方式。

対象案件	・物品 予定額 10万円超80万円以下 ・印刷、その他業務委託 予定額 10万円超50万円以下 ・物件の借入れ // 10万円超40万円以下
対象業者	伊勢市の一般競争入札等資格者名簿に登録されており、案件毎の参加資格要件を満たす業者（原則として市内業者）

発注情報の掲示日時	毎週水曜日 14 時頃（基本原則）
見積書の提出方法	管財契約課の入札箱へ直接投函
見積書の開札	提出期限後、開封
結果の公表	見積締切日の翌日中に伊勢市HP及び管財契約課閲覧室にて公開

（3）条件付一般競争入札

発注情報を管財契約課前掲示板及び伊勢市HP上に掲示し、それぞれの入札参加資格要件に該当し入札参加を希望する業者は、入札参加申請を経て、開札日に入札書を持参し入札参加者全員の立会のもと入札を行う方式。

対象案件	予定価格が1億5千万円以上の工事
対象業者	伊勢市の一般競争入札等資格者名簿に登録されており、案件毎の参加資格要件を満たす業者
発注情報の掲示日時	随時 16 時頃（基本原則）
参加申込みの方法	条件付一般競争入札参加申込書を管財契約課へFAXで申込み
参加資格の確認通知	参加申込書の内容を確認し、FAXで参加資格の有無を通知
入札書の提出方法	入札日に持参
入札書の開札	参加者全員の立会により開札
結果の公表	入札日の翌日中に伊勢市HP及び管財契約課閲覧室にて公開

平成 20 年 6 月以降

（1）要件付一般競争入札

入札公告を伊勢市HP上「伊勢市電子入札システム・物品調達システム」（以下「システム」）で公開し、当該案件への入札参加を希望する業者が、定められた申込手続・審査を経て入札に参加する方式。

入札の参加方法は2種類あり、「電子による入札」と「紙による入札」に分かれる。（電子入札と紙入札の併用はしない。）

対象案件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事、コンサル 予定価格 130 万円超 ・ 物品 予定額 80 万円超 ・ 印刷、その他業務委託 " 50 万円超 ・ 物件の借入れ " 40 万円超
対象業者	伊勢市の一般競争入札等資格者名簿に登録されており、案件毎の参加資格要件を満たす業者
発注情報の掲示日時	毎週月曜日 15 時頃（基本原則）
参加申込みの方法	電子入札の場合 システムより参加申請書を送信 紙入札の場合 伊勢市要件付一般競争入札参加申請書を管財契約課へFAXで申込み
参加資格の確認通知	電子入札の場合 提出された参加資格の有無をシステム上と電子メールで通知 紙入札の場合 参加資格の有無を「伊勢市要件付一般競争入札参加確認通知書」でFAX通知

入札書の提出方法	電子入札の場合 システムより入札書を送信 紙入札の場合 書留郵便、信書便または管財契約課の入札箱へ直接投函
入札書の開札	毎週火曜日の公告された時間（原則、公開）
結果の公表	入札日の翌日までに伊勢市HP及び管財契約課閲覧室にて公開

(2) 自由参加型見積合わせ（オープンビッド）

入札公告を伊勢市HP上システムで公開し、当該案件への見積参加を希望する業者が、申込手続き・審査を経ず、見積に参加する方式。

入札の参加方法は2種類あり、「電子による入札」と「紙による入札」に分かれる。（電子入札と紙入札の併用はしない。）

対象案件	<ul style="list-style-type: none"> ・物品 予定額 10万円超 80万円以下 ・印刷、その他業務委託 予定額 10万円超 50万円以下 ・物件の借入れ // 10万円超 40万円以下
対象業者	伊勢市の一般競争入札等資格者名簿に登録されており、案件毎の参加資格要件を満たす業者（原則として市内業者）
発注情報の掲示日時	毎週月曜日 15時頃（基本原則）
見積書の提出方法	電子入札の場合 システムより見積書を送信 紙入札の場合 書留郵便、信書便または管財契約課の入札箱へ直接投函
見積書の開札	毎週水曜日の公告された時間
結果の公表	見積締切日の翌日までに伊勢市HP及び管財契約課閲覧室にて公開

2 一般事務用品

本庁各課共通で使用する一般事務用品については、品質の統一、事務処理の簡素化、経費の節減等の観点から、単価契約、一括購入を行い、集中管理により全庁的利用を図った。

3 建設工事（測量・建設コンサルタント）等入札参加資格者名簿の登録結果

平成21年3月31日現在

種別	地区						計
	市内	準市内	市内支店	県内	県外		
建設工事	265件	9件	7件	403件	436件	1,120件	
測量・建設コンサルタント等	39	2	7	245	274	567	
合計	304	11	14	648	710	1,687	

4 伊勢市物品・物件入札参加資格者名簿の登録結果

平成21年3月31日現在

種別	地区				計
	市内	市内支店	県内	県外	
物品・物件	546件	74件	450件	607件	1,677件

5 小規模工事受注希望者登録業者数（平成21年3月31日現在）

登録件数 52件

6 入札及び契約状況（平成21年3月31日現在）

建設工事	(件数)	(契約金額)	(予定価格(税込))	(落札率)
受注希望型指名競争入札	30件	916,720,350円	1,108,126,950円	82.73%
要件付一般競争入札	243件	4,598,172,600円	5,638,829,700円	81.54%
小計	273件	5,514,892,950円	6,746,956,650円	81.74%
測量・建設コンサルタント等	(件数)	(契約金額)	(予定価格(税込))	(落札率)
受注希望型指名競争入札	5件	48,933,150円	59,045,700円	82.87%
要件付一般競争入札	40件	125,968,500円	177,838,500円	70.83%
小計	45件	174,901,650円	236,884,200円	73.83%
その他業務委託 ※単価契約を除く	(件数)	(契約金額)	(予定価格(税込))	(落札率)
受注希望型指名競争入札	55件	109,050,879円	134,996,332円	80.78%
要件付一般競争入札	110件	646,983,861円	860,807,015円	75.16%
定時見積合わせ	13件	4,942,350円	6,767,560円	73.03%
オープンビッド	49件	11,312,800円	14,930,558円	75.77%
指名競争入札	8件	9,881,550円	10,095,750円	97.88%
小計	235件	782,171,440円	1,027,597,215円	76.12%
物品・印刷 ※単価契約を除く	(件数)	(契約金額)	(予定価格(税込))	(落札率)
受注希望型指名競争入札	12件	49,546,591円	60,644,806円	81.70%
要件付一般競争入札	65件	194,594,515円	233,252,014円	83.43%
定時見積合わせ	29件	8,886,695円	10,586,444円	83.94%
オープンビッド	209件	36,584,351円	50,575,015円	72.34%
小計	315件	289,612,152円	355,058,279円	81.57%
総計	868件	6,761,578,192円	8,366,496,344円	80.82%

○ 管財関係

1 市有財産（土地及び建物）増減調査

伊勢市財政状況公表条例に基づき、市有財産のうち土地及び建物に関する現況調査（平成21年3月末日現在）を実施するとともに、この結果を決算における財産に関する調書に反映させた。

(1) 行政財産

区分	地積、延面積	土 地	建 物
		決算年度末現在高	決算年度末現在高
公 用 財 産		m ² 171,052.18	m ² 36,767.34
公 共 用 財 産		2,955,540.66	346,768.24
計		3,126,592.84	383,535.58

(2) 普通財産

区分	地積、延面積	土 地	建 物
		決算年度末現在高	決算年度末現在高
普 通 財 産		m ² 784,660.98	m ² 38.88

2 市有財産の貸付

遊休地の有効利用と地域住民の福祉の増進等を図るため、次のとおり市有財産の貸付を行った。

(1) 市有土地の貸付

ア 有償貸付

物 件			貸付先	貸付料 (年額)	用途	期間
所在地	地目	地積				
船江1丁目1113番7ほか2筆	宅地	m ² 876.38	雇用促進住宅船江宿舍 自治会	円 1,338,000	駐車場 通路	自H20.4.1 至H21.3.31
宇治中之切町39番1	〃	506.47	宇治中之切町会	432,000	駐車場	〃
中島1丁目814番ほか5筆	〃	1,339.79	京町自治会	600,000	〃	〃
田尻町乙261番33	〃	155.67	田尻町会	43,180	〃	〃
本町306番	〃	71.04	社団法人伊勢市観光協 会	161,917	事務所	〃
曾祢2丁目931番1	〃	77.95	伊勢たばこ販売協同組 合	168,839	〃	〃

西豊浜町174番12	公衆用 道 路	379.00	株式会社キング観光	253,037	駐車場	自 H14. 6. 1 至 自動継続
中村町桜が丘194番1	宅 地	1,633.22	三重県警察本部	403,532	警察官 宿 舎	自 H13. 4. 1 至 自動継続
東豊浜町306番1のうち	〃	205.20	〃 豊浜駐在所	47,231	警察官 駐在所	〃
竹ヶ鼻町147番5	〃	390.92	〃 神社駐在所	232,325	〃	自 H15. 4. 1 至 自動継続
村松町3番1のうち	〃	342.87	〃 村松駐在所	88,858	〃	自 S59.11. 1 至 H27. 3.31
楠部町3011番2	山 林	1,752.00	楠部町区	476	植 林	自 H 8.11.25 至 自動継続
一宇田町1141番2ほか 1筆	〃	13,763.00	一宇田町区	2,339	〃	〃
中村町1551番	〃	4,608.00	中村町区	1,253	〃	〃
朝熊町49番2ほか1筆	〃	11,900.00	朝熊町自治会	2,023	〃	〃
八日市場町547番ほか 10筆	—	電柱 13本 支線 3条	中部電力株式会社	28,800	電 柱	自 H20. 4. 1 至 H21. 3.31
大湊町767-2	宅地	電柱 3本	中部電力株式会社	5,400	電 柱	〃
村松町3294番15	宅 地	電話柱 1本	西日本電信電話株式会 社	1,100	電話柱	〃
二俣町字東方所577番 9	宅 地	電柱 4本	(株)エヌ・ティ・ティ・ド コモ東海	7,200	電 柱	自 H20. 4. 1 至 H21. 3.31
辻久留1丁目187番69 のうち	宅 地	6.13	東邦瓦斯(株)	8,787	ガス 整圧器	自 H20. 4. 1 至 H21. 3.31
宮後2丁目626番1	〃	637.93	社団法人伊勢市シルバ ー人材センター	224,000	駐車場及 び倉庫	自 H20. 8. 1 至 H21. 3.31
吹上2丁目413番96	〃	15	南シーリング有限会社	2,000	工事用地	自 H20. 8. 1 至 H20. 8.31
計	22件	38,660.57 電柱 20本 電話柱 1本 支線 3条	—	4,052,297	—	—

イ 無償貸付

物 件			貸 付 先	用 途	期 間
所 在 地	地 目	地 積			
尾上町虎ヶ尾 38 番 4 のうち	宅 地	m ² 4.00	伊勢市水道事業	加圧ポンプ場	自 S44. 8. 25 至 自動継続
有滝町字小苗代 2638 番のうち	〃	359.59	有滝町会	消防団詰所、消防車 庫等	自 S61. 12. 5 至 H28. 12. 4
二俣町字東万所 577 番 9	〃	6, 120. 10	社会福祉法人伊勢医心 会	特別養護老人ホーム	自 H 6. 4. 1 至 自動継続
河崎 3 丁目 226 番ほか 4 筆	〃	1, 951. 79	社会福祉法人邦栄会	〃	自 H 6. 8. 8 至 自動継続
浦口 4 丁目 670 番 93	宅 地	195. 59	徳川山町会	公民館	自 H 9. 4. 1 至 自動継続
宇治浦田 1 丁目 195 番 6	〃	281. 00	宇治公民館運営委員会	〃	〃
村松町字大坊城山 3294 番 15	〃	495. 90	有滝町会、村松町会	診療所	自 H 9. 7. 28 至 自動継続
藤里町字長尾谷 1 番 363	〃	184. 25	ふじが丘自治会	公民館	自 H 9. 10. 14 至 自動継続
矢持町下村字明光坂 410 番ほか 12 筆	学 校 用 地	1, 366. 91	社会福祉法人一字郷福 祉会	保育園	自 H20. 4. 1 至 H30. 3. 31
村松町字大坊城山 3294 番 6	宅 地	502. 45	有滝町会村松町会 社会福祉法人慈恵会	診療所駐車場 老人ホーム駐車場	自 H10. 4. 1 至 自動継続
矢持町下村字村井 708 番	山 林	2, 677. 00	横輪町会、矢持町会	植林	自 H20. 4. 1 至 H30. 3. 31
岩渕 2 丁目 466 番 12	宅 地	103. 04	岩渕町連合会	公民館	自 H13. 8. 1 至 自動継続
旭町字丸山 346 ほか 3 筆のうち	学 校 用 地	1, 047. 11	社会福祉法人宮山	保育園	自 H15. 4. 10 至 H45. 4. 9
竹ヶ鼻町 78 番 11	宅 地	472. 77	竹ヶ鼻町自治会	公園	自 H19. 4. 1 至 H22. 3. 31
一色町字新木 1316 番	〃	1, 117. 35	社会福祉法人一色福祉 会	保育園	自 H16. 4. 1 至 H21. 3. 31

朝熊町字鴨谷 4383 番 421 ほか3 筆	雑種地	28,645.00	三重県	体育館等	自 H17. 4. 1 至 H22. 3. 31
旭町字坂之下 202 番ほ か1 筆	宅 地	227.76	旭町会	公民館	自 H17. 4. 1 至 H22. 3. 31
大湊町 783 番 11 ほか 3 筆	宅 地	655.71	大湊町振興会	公民館・駐車場	自 H19. 7. 1 至 自動継続
二俣町東万所 557 番地 1 ほか2 筆	宅 地	19,092.48	社会福祉法人伊勢医心 会	養護老人ホーム	自 H19. 8. 1 至 H49. 7. 31
辻久留 1 丁目 769 番	宅 地	213.11	辻久留町自治会	公園、倉庫	自 H20.10.30 至 H25. 3. 31
辻久留 3 丁目 281 番 95 のうち	宅 地	470.38	辻久留町自治会	集会所、防災倉庫	自 H20.10.30 至 自動継続
辻久留 3 丁目 281 番 95 のうち	宅 地	269.07	辻久留町自治会	コミュニティ広場	自 H20.10.30 至 H25. 3. 31
計	22 件	66,452.36	—	—	—

(2) 市有建物の貸付

無し

(3) 行政財産の目的外使用許可

ア 有償使用許可

物 件	床面積	貸 付 先	使用料 (年額)	期 間
伊勢市役所本庁舎内 (市役所出張所)	m ² 40.32	株式会社百五銀行	円 817,451	自 H20. 4. 1 至 H21. 3. 31
伊勢市役所本庁舎内 (現金自動支払機)	4.34	株式会社百五銀行 ほか3 行	92,400	〃
伊勢市役所東庁舎内 (職員組合)	89.52	伊勢市職員労働組合	180,415	〃
伊勢市二見総合支所内 (職員組合)	14.76	伊勢市職員労働組合	8,834	〃
伊勢市御薮総合支所内 (職員組合)	21.00	伊勢市職員労働組合	81,372	〃
計	169.94	5 件	1,180,472	—

イ 無償使用許可

物 件	貸 付 先	用 途	期 間
伊勢市役所本庁舎内	伊勢市職員共済会	売店、食堂、自動販売機	自 H20. 4. 1 至 H21. 3. 31
伊勢市役所佐八車庫内	〃	自動販売機	〃
岩淵1丁目117番1	伊勢市下水道事業	下水道本管理設	自 H19. 4. 1 至 H24. 3. 31
伊勢市役所本庁舎内	伊勢市社会福祉協議会	入れ歯リサイクルボックス	自 20.10. 1 至 21. 3. 31
計	4件	—	—

3 土地・建物に対する保険契約状況

市有財産について、災害時等の負担軽減を図るため、次のとおり各種保険に加入した。

(1) 建物総合災害共済（全国市有物件災害共済会）

区 分	委 託 件 数	共 済 責 任 額	共 済 分 担 金
建 物	534 件	千円 89,577,420	円 8,078,331
ガ ラ ス	7 (623 枚)	55,682	222,728
計	541	89,633,102	8,301,059

(2) 道路賠償責任保険（全国市有物件災害共済会）

区 分	延 長	保 険 金 額 (C 型)	保 険 料 (年 額)
市 道	km 841	—	円 655,980
農 道	121	—	32,670
林 道	18	—	4,860
そ の 他	420	—	113,400
計	—	—	806,910

(注) 1事故につき限度額510,000千円（うち10,000千円は財物賠償）

4 施設の工事並びに補修及び修繕等

(1) 工事関係

ア 財産管理費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩渕1丁目地内	庁舎内書架等転倒防止工事	書架転倒防止工事	円 855,750	21. 1. 22	21. 3. 12
岩渕2丁目地内	岩渕町公民館犬走修繕工事	犬走切り取り工事	52,500	21. 1. 16	21. 1. 16
岩渕1丁目地内	東庁舎3階会議室間仕切改修工事	会議室間仕切改修	304,500	21. 3. 24	21. 3. 24
計	3件	—	1,212,750	—	—

(2) 補修及び修繕

ア 財産管理費

	修繕工事名	修繕料
4	ゴミ保管庫カギ取替修繕	円 12,180
	広報公聴課パソコン室カギ取替修繕	14,700
	東庁舎1階倉庫カギ取替修繕	17,640
	広報公聴課コンピューター室錠取替修繕	10,080
5	本館2階検査室他コンセント移設及び総務課窓口蛍光灯増設修繕	89,460
	伊勢市車庫及び水防倉庫シャッター修繕	37,800
	厨房排風機モーター取替え修繕	51,019
	本館消防設備修繕	63,000
	本館秘書課前ドア取り付け修繕	44,835
	2-3会議室スピーカー取付修繕	33,600
6	東庁舎電灯及び空調用トランス油取替修繕	231,000
	伊勢市役所中部電力前公用車駐車場案内看板取替修繕	15,750
	本館非常灯修繕	315,000
	地下ピット湧水排水用ポンプ取替修繕	110,250
7	東庁舎地下ピット排水ポンプ取替修繕	162,750
	女性休養室畳表替え修繕	44,100
	東庁舎自動扉（内側）修繕	52,500
	副市長室窓修繕	39,060
	市役所本館正面玄関ガラス修繕	36,000
	東庁舎2階小便器自動洗浄装置取替修繕	182,700
8	自動火災報知設備改修	67,200
	3階議場他館内放送設備改修	98,700
	キャノピースイッチ取付修繕	148,680
	東庁舎エアコン室内機シングルルーバー駆動部修繕	415,800

9	佐八車庫修繕	97,965
	正面玄関ガラスフィルム設置	49,875
	東庁舎4階空調機修繕	35,910
	佐八車庫水防倉庫自動火災報知設備修繕	27,300
	非常階段ドア外部のコーキング及び内部壁補修	99,995
10	消防用設備不良箇所修繕	98,700
	本庁舎排風機用モーター等取替修繕	144,900
	庁舎駐輪場壁板修繕	78,225
11	守衛室監視カメラディスプレイ修繕	26,250
	東庁舎5階湯沸器修繕	7,455
12	本館No.1ボイラーバーナー部品取替修繕	312,900
	本庁舎1階壁紙及びコーナー修繕	99,750
	環境課天井灯配線漏電修繕	9,450
	伊勢市車庫及び水防倉庫インターホン3ヶ所取替修繕	73,500
1	東庁舎空調機修繕	90,300
	本館1階課税課ガラス修繕	45,150
	本館ミニUPS取替修繕	99,750
	東庁舎3階ガラス割替え修繕	10,605
	東庁舎エレベーター天井照明板修繕	35,490
2	本館外壁コンクリート部分補修修繕・東庁舎内部壁修繕	68,250
	守衛室畳表替え修繕	52,080
	守衛室監視カメラディスプレイ修繕	15,750
3	感知器増設及び不良箇所修繕	70,350
	東庁舎3階出退表示器撤去修繕	28,350
	東庁舎5階空調機修繕	99,540
	佐八車庫及び水防倉庫水銀灯修繕	47,250
計	50件	4,118,844

(3) 業務委託

施行場所	業務等名称	概要	金額	着手	完了
宇治中之切町 地内	宇治中之切町市有地樹 木剪定等業務委託 (注)	樹木剪定 29本	3,289,650円	20. 8. 27	20. 11. 21

(注) 維持課施行

5 駐車場貸出

市街地における自動車の駐車需要に対応し、住民の利便に資するため、貸出しを行った。

(1) 吹上駐車場（1年更新）

所在地	地積	利用者	使用料 (収納額)	区画数	期間
吹上1丁目606番9	m ² 1,966.41	市民及び市内に勤務する者	円 3,109,390	台 50	自 20. 4. 1 至 21. 3. 31

(2) 小俣駐車場（自動更新）

所在地	地積	利用者	貸付料 (収納額)	区画数	期間
小俣町元町52番地3 (下小俣駐車場)	m ² 1,153.44	利用を希望する者	円 1,179,326	台 49	自 20. 4. 1 至 21. 3. 31
小俣町元町768番地 のうち (横世古駐車場)	700.96	〃	672,000	21	〃
小俣町本町139番地 (本町駐車場)	977.55	〃	864,500	31	〃
小俣町本町205番地1 ほか1筆 (宮川駅前駐車場)	2,688.16	〃	1,178,090	58	〃
小俣町相合159番地1	1,559.00	米子自治会	1,755,000	—	〃
小俣町元町1631番地1 の内	389.64	株式会社千種鉄工所	180,000	—	自 20. 4. 1 至 20. 12. 31
計	7,468.75	—	5,828,916	159	—

(注) 貸出受付は小俣総合支所地域振興課、収納業務は管財契約課

6 守衛関係

(1) 防火管理

ア 屋内の消火栓の点検を毎週土曜日に実施した。

イ 防火シャッターの機能試験を毎月2回実施した。

(2) 休日及び時間外の取扱事項及び件数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
時間外 勤務者	件 802	件 784	件 900	件 646	件 489	件 398	件 778	件 779	件 594	件 635	件 833	件 937	件 8,575

時 間 外 登 庁 者	234	184	229	174	194	241	124	313	235	220	231	295	2,674
時 間 外 外 来 者	116	265	245	296	218	536	273	372	244	382	649	393	3,989
出 生 届	2	8	4	2	5	6	1	8	9	10	2	9	66
死 亡 届	28	31	31	17	25	28	19	28	31	36	38	30	342
婚 姻 届	16	25	15	15	10	25	15	30	16	24	19	20	230
火 葬 許 可 受 理	28	31	31	16	25	28	19	28	31	36	39	30	342
埋 葬 許 可 受 理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警 報・注 意 報 等 受 理	8	9	13	9	12	20	7	5	8	24	17	15	147
送 達 書 留 文 書 受 理	278	305	278	246	244	292	277	320	154	279	372	244	3,289
公 金 預 り	32	45	24	38	52	25	22	24	20	21	24	33	360
公 印 保 管	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	5
庁 内 見 学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火 災 発 生 通 知	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	4
ダ ム 放 流 予 報 受 理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車 い す 用 階 段 昇 降 機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,544	1,687	1,771	1,459	1,274	1,599	1,535	1,908	1,345	1,670	2,225	2,006	20,023

○ 車両関係

- 1 車両に対する保険契約及び事故状況（総合支所、教育委員会、上下水道、病院、消防、開発公社、福祉貸与車両を除く）

市が保有する車両の事故等の負担軽減を図るため、自動車損害共済（示談代行サービス付総合契約）に加入した。

（1）自動車損害共済

委託台数 169 台

共済基金分担金 3,391,650 円

(2) 共済責任額

車両共済は見積価額

対物損害賠償共済は1,000万円まで

対人損害賠償共済は無制限

(3) 平成20年度における自動車事故精算額(車両修繕費及び賠償金)

・車両修繕費

事故日	所 属	修繕料
20. 7. 9	こども課	80,346円
20. 7. 24	障がい福祉課	151,568
20. 8. 1	課税課	61,950
20. 8. 19	秘書課	43,260
20. 9. 1	収税課	91,654
20. 9. 29	建築住宅課	5,037
20. 10. 30	こども課	26,880
合 計	7 件	460,695

・賠償金

事故日	所 属	賠償金	公用車修繕料
20. 9. 18	維持課	175,449円	0円
20. 12. 25	清掃課	483,624	252,010
21. 2. 20	観光事業課	138,600	0
合 計	3 件	797,673	252,010

・見舞金

事故日	所 属	見舞金	公用車修繕料
20. 4. 25	清掃課	28,000円	0円
20. 7. 9	交通政策課	9,900	25,000
合 計	2 件	37,900	25,000

2 車両整備

車検整備、法定点検整備、一般修繕及び钣金塗装については、市内9業者に委託した。

3 集中管理車の使用状況

公用車の効率的運行を図るため、運転手を配置していない車両36台を集中管理し、貸出しを行った。

(1) 管理車両(36台)の使用状況

使用回数 16,642回

走行距離 419,982km

(2) マイクロバス(管財・議会車両2台)の使用状況

使用回数 227回

走行距離 17,697km

4 有料道路使用状況

月別	使用件数(件)	使用料金(円)
4	15	23,550
5	15	43,650
6	11	29,250
7	24	86,010
8	18	45,600
9	17	48,950
10	18	43,950
11	32	96,750
12	9	40,150
1	9	21,400
2	25	61,600
3	9	24,550
計	202	565,410

5 タクシー使用状況

月別	使用件数(件)	使用料金(円)
4	2	2,720
5	18	26,320
6	20	26,600
7	0	0
8	0	0
9	0	0
10	2	1,840
11	0	0
12	0	0
1	0	0
2	0	0
3	0	0
計	42	57,480

危機管理課

○ 防災関係

1 災害対策本部の設置

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 9回

設置年月日	注意報・警報名
20. 4. 10	大雨・洪水警報
20. 4. 17～18	大雨・洪水警報
20. 5. 14	大雨・洪水警報
20. 8. 23～24	大雨・洪水警報
20. 8. 30	大雨・洪水警報
20. 9. 15	大雨・洪水警報
20. 9. 19	大雨・洪水・暴風警報
21. 1. 4	津波注意報
21. 1. 31	大雨・洪水警報

(2) 被害状況

年 月 日		20. 5. 14	21. 1. 31
家屋	全 壊	—	—
	大規模半壊	—	—
	半 壊	—	—
	床上浸水	—	5
	床下浸水	2	16
	一部被害	—	—

2 一般木造住宅耐震診断事業及び耐震補強事業補助

阪神・淡路大震災では昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、東海・東南海・南海地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。また、耐震診断の結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事に要した費用に対する一部補助を行った。

(木造住宅無料耐震診断)

ア 診断件数 142件

イ 申込期間 随時（平成20年12月19日まで）

(木造住宅耐震補強事業補助)

- ア 補助件数 耐震補強工事 10件 除却工事 3件
イ 申込期間 随時（平成21年2月2日まで）

3 災害時要援護者宅家具固定事業

過去に発生した大規模な災害では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。その中でも、高齢者、障害者などの災害時要援護者の方が被災されるケースが多数見受けられたため、要援護者を対象に家具固定事業を実施した。

- ア 件数 60件
イ 申込期間 平成20年9月8日から9月22日（第1回）
平成21年1月6日から1月30日（第2回）

4 地域防災力向上事業

(1) モデル地区育成事業（一之木地区と大世古地区）

地域住民が「わがまち」を認識し、災害に強いまちづくりを行うことを目的として、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、それらの情報を記載した防災マップを作成した。

(2) 研修会の開催

職員の防災意識を高めることを目指して、現場の責任者である課長級以上の職員を対象とした防災研修を開催した。

- ア 開催年月日 平成21年1月16日
イ 講師 三重大学大学院工学研究科 川口 淳准教授
ウ 参加人数 80名

(3) 防災講習の実施

東海地震等の大規模地震の発生が心配されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会や自主防災隊等からの要請に応じ、防災講習を実施した。

- ア 実施回数 77回
イ 参加人数 8,009名
ウ 実施内容
- ・ 三重県防災啓発車による地震体験
 - ・ 緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
 - ・ 緊急地震速報の仕組みを説明
 - ・ 応急手当の方法を説明
 - ・ 園児、児童、生徒への防災教育

(4) 防災啓発の実施

災害に対しての市民の自助意識を高めていくことを目的に防災週間（8月30日～9月7日）にあわせて、地震防災パネル等の展示を行った。

展示年月日	展示場所
20. 8. 29 ～ 9. 9	伊勢市立図書館
20. 8. 31 ～ 9. 7	ジャスコ新伊勢店

(5) 職員防災意識アンケート調査の実施

東海地震、東南海・南海地震をはじめとした大規模災害の発生に備え、当市の防災力の向上・強化を目指すための基礎的資料を得ることを目的とした「職員意識調査アンケート」を国立大学法人三重大学と共同で実施し、当市の現状把握と分析を行った。

5 総合防災訓練の実施

東海地震、東南海地震を想定し、県・市・防災関係機関・ライフライン（電気・ガス・水道など）関係機関・地域住民・ボランティア団体などが連携した実践的な防災訓練を三重県との共催により実施した。

ア 実施年月日 平成20年9月7日（日）

イ 参加人数 5,000名

ウ 実施場所と訓練内容 次のとおり

実施場所	訓練内容
<メイン会場> 三重県営サンアリーナ前広場	・航空機などを用いた情報偵察訓練 ・救助機関による救出訓練 ・ライフライン復旧訓練 など
<大湊会場> 宇治山田港旅客ターミナル駐車場	・重篤患者の発生を想定した船舶とヘリコプターでの搬送訓練
<二見会場> 二見興玉神社周辺	・津波を想定した観光客の避難誘導訓練

6 情報伝達訓練の実施

職員の意識高揚を図るとともに大規模災害の発生等非常時における迅速的確な情報伝達体制の検証を行うことを目的とした情報伝達訓練を実施した。

ア 実施年月日 平成20年6月21日

イ 参加人数 1,387名

7 非常参集訓練の実施

職員の意識高揚を図るとともに大規模災害の発生等非常時における迅速的確な情報伝達体制の検証及び各部署への参集状況の把握を行うことを目的と非常参集訓練を実施した。

ア 実施年月日 平成20年11月28日

イ 参集人数 857名（消防と病院及び教育委員会の一部職員を除く）

8 防災指揮所演習への参加

大規模地震発生時における情報収集と指揮所活動及び自衛隊との連携など災害対処能力の向上を目的とした防災指揮所演習に参加した。

ア 実施年月日 平成21年2月24日・25日

イ 実施場所 陸上自衛隊久居駐屯地

9 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸の登録を募集し、水質検査の結果、13井戸を登録、総数が132井戸となった。

10 災害用物資、資機材の整備及び機械器具の購入

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資及び資機材の整備推進を図った。

(1) 災害用物資、資機材の整備

種類	品目	備蓄目標	購入品目・数量		備蓄総量
食糧	乾パン、ビスケット、ソフトパン、アルファ米、アルファ米（アレルギー対応）、お粥等	72,300食	アルファ米	5,000食	69,597食
			ビスケット	8,800食	
			アルファ米（アレルギー対応）	300食	
	粉ミルク	—	箱入りミルク	—	200箱
	粉ミルク（アレルギー対応）	—	缶入りミルク	10缶	10缶
飲料水	ペットボトル	72,300 ^{リットル}	ペットボトル（500ミリリットル）	4,176本 (2,088 ^{リットル})	28,821 ^{リットル}
衣料品	毛布	8,100枚	—	—	9,606枚
災害救助物資	折り畳み式リヤカー	35台	—	—	39台
フルーシート	ブルーシート	5,500枚	—	—	3,142枚
生活必需品	救急箱	35箱	—	—	71箱
	おむつ	100袋	—	25袋	682袋
	生理用品	500袋	—	—	1,842袋
	仮設トイレ	35基	—	—	102基
その他	寝具	—	真空パック寝具	20セット	137セット

(2)機械器具の購入

衛星携帯電話を購入し、災害時における孤立地区対策を行った。

	購入年月日	規格	金額
衛星携帯電話 5台	21. 3. 10	Iridium Satellite LLC社製イリジウム9505A	1,086,750円

11 災害協定の締結

災害発生時に迅速な応急対策を行うため、民間事業所と災害時の応援協定を締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
三重県石油商業組合伊勢支部	20. 9. 4	・災害時における石油類燃料の供給に関する協定 ・災害時における帰宅困難者に対する支援に関する協定

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会の活動

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、当協議会において、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

(1) 防犯意識高揚のための啓発事業

地域安全講習会の開催

平成20年6月9日から平成21年1月30日の間に、26回開催し、1,114名の受講者があった(対象は、自治会・老人会)。

内 容 ・防犯ビデオによる啓発

- ・開催地域の交番・駐在所員による管内の犯罪等の発生状況について
- ・防犯活動アドバイザーから刑法犯等の発生状況及び悪質商法などの相談事例とその対応について
- ・暴力団等の状況について
- ・質疑等
- ・パンフレット、リーフレット、その他啓発用品等を配布し、啓発に努めた。

(2) 自主防犯活動の推進

ア 防犯モデル地区の指定(自主防犯活動地区啓発推進事業)

自治会に自主防犯組織を立ち上げてもらい、地区住民自ら相互扶助の精神に基づき自主的な防犯活動を推進し、地域社会における連帯意識を高めることにより地区の犯罪の減少を図った。

指定地区 吹上町会
 指定期間 平成20年10月9日～平成22年3月31日
 看板設置 指定地区に「防犯モデル指定地区」の看板を設置
 活 動 ・地域住民に対して防犯意識等の高揚を図るための啓発を推進した。
 ・自主防犯活動を推進し、連帯意識の向上を図った。
 ・関係機関等が実施する防犯活動に積極的に参加した。
 ・その他、目的を達成するために事業を実施した。
 交 付 金 指定地区に2年間交付金を助成した（3万円／年・1地区）。

イ 危険箇所等の情報収集

- ・地域安全講習会開催時に住民（受講者）から情報を得たときは、同席している警察官にその場で相談し、対応の方法等の指導を受けた。
- ・住民や地域安全連絡員から防犯事案の通報があった場合は、伊勢警察署（生活安全課）に連絡し、パトロール等の依頼をした。

2 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

自治会が実施する防犯灯の整備に対し、「伊勢市防犯灯整備事業補助金及び伊勢市防犯灯助成金交付要綱」に基づき補助金を交付することにより、地域の防犯環境の整備を支援した。

- ・防犯灯新設 66地区（158箇所）
- ・防犯灯修繕 134地区
- ・防犯灯電気代 152地区

3 防犯パトロールの実施

学童・生徒に対して登下校時に発生している不審者による声かけ事象等からの被害防止を図るため、防犯パトロールを実施。

- (1) 内 容 市内全小中学校周辺を重点に、下校時にあわせて週3回青色回転灯装着車でパトロールを行った。

○ 危機管理関係

1 不当要求行為関係

不当要求防止責任者である各所属長に対して、研修を開催し、不当要求等に対して組織で対応すること等を指導した。また、各部署からの不当要求行為に関しての相談に、事例を交え対応策などについて指導した。

開催年月日	内容	対象者	参加人数
20. 4. 25	不当要求対応研修 平成19・20年度に所属長へ昇格した職員を対象に開催した。	新規所属長	19名

20. 7. 14 15	不当要求行為等対応研修 DVD視聴や不当要求対応時のロールプレイを実演し、具体的な対応を指導した。	各部課長	109名
20. 8. 5	不当要求防止責任者講習会 三重県公安委員会による責任者講習会を開催した。	責任者講習会未受講の各部課長	28名

不当要求行為等発生報告書提出件数 6件

防犯アドバイザー相談件数 7件

2 国民保護関係

市は、武力攻撃事態等が発生し、県から避難の指示の通知を受けた場合、速やかに避難実施要領を定めなければならない。実際に事態が発生した際に、避難実施要領を迅速に作成するため、伊勢市避難実施要領作成マニュアルを作成した。

3 危機管理関係

市における危機管理の基本的な事項を定め、総合的な危機管理体制の整備を推進することにより、危機による市民の生命、身体及び財産の被害又は損失の防止や軽減を図り、市民の安全と安心を確保することを目的として「伊勢市危機管理計画」を作成した。また、伊勢市危機管理計画に基づき、健康課と協力し、伊勢市新型インフルエンザ対策行動計画〈社会対応版〉を作成した。

伊勢市危機管理計画

開催年月日	内容
20. 8. 1	第1回伊勢市危機管理推進会議幹事会開催
20. 8. 4	経営戦略会議 伊勢市危機管理計画の作成について
20. 8. 27	伊勢市危機管理計画作成

伊勢市新型インフルエンザ対策行動計画〈社会対応版〉

開催年月日	内容
20. 12. 3	新型インフルエンザに関する対策会議開催
21. 1. 15	新型インフルエンザ危機対策会議開催
21. 2. 3	第1回伊勢市危機管理推進会議開催
21. 2. 12	伊勢市新型インフルエンザ対策行動計画〈社会対応版〉作成